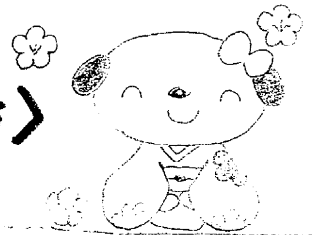


# ちゅうりっぷ組だより <1月号>



平成30年1月19日 ときめ保育園 担当: 野口

お正月休み明けも、子ども達は元気に登園し、いつもの可愛い笑顔がたくさん見られました。机等の言葉を教えることが増え、保育者の言ったことを真似て言ったりします。「OOちゃんおいで」と呼んだり、「ケンケンいた(バイバイ)」「先生、見てよ」など、月齢の高い子の中には、二語文を話せるようになってきたり、手遊びや体操をする時に、歌と一緒に口ずさもうとする姿は、とても楽しいです。月齢の低い子も笑顔で体を揺らしたりする様子を見ると、保育者も嬉しく思います。



先月は、体調を崩し、咳、鼻水の出ている子が多く、室内で過ごすことが多かったのですが、体調をみて、外遊びをすると、皆大喜び。しっかりした足取りで走る姿が見られるようになりました。今までは、総合遊具のロープに、足がはまってしまい、「足が入っちゃったよ〜」「脱げない」というように、助けを求めていましたが、今では一人でロープの所を登ったり、滑ったりし、滑り台を行なう満足そうな笑顔に「楽しい」という思いが、あふれ、成長が感じられます。

まだまだ寒い日が続きますが、暖かい日は、外に出てたくさん体を動かし、体力作りを心掛けたり、インフルエンザや園病をひいたりしないよう、健康状態を十分配慮し、子ども達が目を輝かせながら、いろいろな経験が楽しめるような保育をしていきたいです。

